

■豪州：「蓄電池が普及する」、アンケートで74%が回答

オーストラリアで気候変動に関する情報を中立的な立場から提供している団体クライメート・カウンスルは2017年9月21日、家庭需要家2,000軒を対象に実施した蓄電池に関する調査で、約74%が「今後10年間で家庭用蓄電池が一般的になる」と回答したと発表した。また、屋上型太陽光設備に加えて蓄電池を導入する理由として、過半数が電気料金の請求額が低くなることを期待できるとことを挙げている。既に屋上型太陽光設備を導入している回答者は全体の38%で、このうちの68%が蓄電池の設置を検討している。